

事務事業評価シート

(平成 26 年度実施事業)

事務事業名	金婚慶祝会事業			事業コード	0440
所属コード	066500	課等名	長寿社会課	係名	生きがい推進係
課長名	藤澤 忠範	担当者名	弥藤 紘子	内線番号	3568
評価分類	☒ 一般 ☐ 公の施設 ☐ 大規模公共事業 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				

1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード	1
	施策	高齢社会に適応した高齢者福祉の充実	コード	4
	基本事業	高齢者の社会参加の促進	コード	1
予算費目名	一般会計 3 款 1 項 3 目 金婚慶祝会事業 (007-07)			
特記事項				
事業期間	☐ 単年度 ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度		開始年度	平成 5 年度
根拠法令等	なし			

(2) 事務事業の概要

結婚 50 周年を迎える夫婦の健康と長寿を願い、金婚慶祝者が一堂に会する会を催す。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

平成 5 年 10 月 27 日に市及び盛岡市老人クラブ連合会の共催で開催された当該金婚慶祝会が現在に至っている。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

18 年度に会費制を導入して参加者が一次減少したが、その後は増加した。
年度により参加者数に増減がある。

2 事務事業の実施状況（Do）・・・・・・・・・・・・・・・・

（1）対象（誰が、何が対象か）

結婚 50 周年を迎える夫婦。

（2）対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 見込み	26 年度 実績
A 結婚 50 周年を迎える夫婦(申請者)	組	147	131	134	143	136
B						
C						

（3）26 年度に実施した主な活動・手順

市と盛岡市老人クラブ連合会が共催し実施する。結婚 50 周年を迎える夫婦で申出のあった夫婦に対し、金婚慶祝会出席の案内状を送り、参加者の長寿を祝う。なお、事業全体に係る統括は市が、アトラクション関係及び老人クラブの参加者とりまとめは盛岡市老人クラブ連合会が行う。

（4）活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

指標項目	単位	23 年度 実績	24 年度 計画	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A 金婚慶祝会参加対象夫婦	組	147	131	134	143	136
B 共催負担金(市・市老連)	千円	1,859	1,594	1,682	1,778	1,778
C						

（5）意図（対象をどのように変えるのか）

結婚 50 年を機に、今まで以上に生きがいのある生活を送っていただく。

（6）成果指標（意図の達成度を示す指標）

指標項目	性格	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A 金婚慶祝会参加夫婦	☒ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持	組	147	131	134	143	136
B 記念品のみの郵送となる夫婦	☐ 上げる ☒ 下げる ☐ 維持	組	101	67	74	86	121
C	☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 計画	26 年度 実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0	0
	④一般財源	千円	1,859	1,594	1,682	1,778	1,778
	⑤その他()	千円	0	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	1,859	1,594	1,682	1,778	1,778
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	350	400	400	400	400
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	1,400	1,600	1,600	1,600	1,600
計	トータルコスト A+B	千円	3,259	3,194	3,282	3,378	3,378
備考							

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

結びついている。

理由；夫婦が互いに慈しみながら健康的な生活を送ることにより，生きがいつくりや社会参加へつながる。

② 市の関与の妥当性

現状で妥当である。

理由；市老人クラブ連合会との共催事業であり，高齢者の生きがいつくりの支援を通じた社会参加の促進は市の役割である。

③ 対象の妥当性

現状で妥当である。

理由；事業対象は金婚夫婦である。

④ 廃止・休止の影響

市老人クラブ連合会との共催事業であり，市が事業廃止をすると事業存続への影響が生じる。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

現状で妥当である。

今後も広報での周知や老人福祉センターや老人クラブ会長へのチラシの掲架による周知により，参加者周知を図る。

(3) 公平性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

公平・公正である。

金婚式該当者すべてを対象とし、同一条件で希望者を募っている。また、参加者は会費を負担しており、費用負担の面でも公平・公正である。

(4) 効率性評価

事業費について、既に参加者に対して会費を求めている事業展開であり、これ以上の削減は困難である。

また、人件費について、周知や参加申込などの慶展会開催に係る事務処理のため、削減は難しい。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

参加者の増加が成果向上となるため、周知方法の工夫を図る。

お祝いの記念品について、実行委員会にて協議、検討する。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

PR 方法について工夫する。

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- ☐ 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- ☒ 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- ☐ 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

結婚 50 周年を迎える夫婦の健康と長寿を願うとともに、これからも生きがいのある生活を送っていただくための取組として重要であり、市民の関心も高いものがある。

参加者の増加を図るため、更なる周知啓発に努めることとする。